

《報道資料》 ページ 1

パテック フィリップ ジュネーブ
2015年10月15日

パテック フィリップ、プラン・レ・ワットの新社屋建設をスタート

パテック フィリップは2015年1月15日、プラン・レ・ワットの本社サイトに新たな社屋を建設し、ジュネーブとの絆を強化する決定を発表した。総工費5億スイスフランの内訳は、建設費用が4億5,000万スイスフラン、製造技術設備が5,000万スイスフランとなる。2018年の完成時には、現在のプラン・レ・ワットのマニュファクチュールがさらに拡張され、新しい活動の展開、技術・知識の伝承の強化が可能となる。こうして家族経営のマニュファクチュールであるパテック フィリップは、ジュネーブへのコミットメントをさらに強めることになる。

2015年10月15日（木曜日）、200人におよぶ招待客臨席の下、この大規模工事の定礎式が執り行われた。フィリップ・スターン名誉会長、ティエリー・スターン社長は、建築家ド・マリニャック、プラン・レ・ワット市長グザヴィエ・マニャン、ジュネーブ州閣僚アントニオ・オドガー各氏をはじめとする招待客を迎えた。

次いでティエリー・スターン、グザヴィエ・マニャン、アントニオ・オドガー三氏が共同で礎石の据えつけを行った。こうしてジュネーブの時計マニュファクチュール、パテック フィリップの発展にとってきわめて重要な、新社屋の建設が正式にスタートした。

「この重要なプロジェクトにより、当社の活動を発展、永続させ、ジュネーブとの絆をさらに強化できることを幸せに思います。とりわけジュネーブ州およびプラン・レ・ワット市のご支援により、この大規模な工事を理想的な条件と期間でスタートできたことを深く感謝します。こうして当社の将来へ向けての長期的な発展が確保されたのです。」とフィリップ・スターン名誉会長、ティエリー・スターン社長があいさつした。

新技術の開発、希少なハンドクラフトの発展、伝統的時計製作技術の伝承

プラン・レ・ワット本社サイトの今回の拡張は、第一に新しい活動の展開と、教育・トレーニングにおける広範な必要性に応えることを目的としている。とりわけ次の分野が対象となる：

技術革新

ローザンヌ連邦工科大学（EPFL）の《パテック フィリップ講座》を補完する、時計製作技術分野の研究を強化する。とりわけテストおよび認証のための新しいラボを設置する。

希少なハンドクラフト

約40名の社内外の職人からなる《希少なハンドクラフト》部門を創設する。この部門には、パテック フィリップの誇る希少なハンドクラフト技術に関する教育・トレーニング・センターが併設される。

サービス

とりわけ歴史的タイムピースの修復に焦点を当てた修理・修復活動を強化するため、補修用の構成部品を製造し、保管する。



《報道資料》 ページ 2

教育・トレーニング

スイスおよび国外の時計技術者、ディストリビューター、販売店を対象とした時計製作、修理・修復、販売・マーケティング分野の教育・トレーニング活動をジュネーブに集中する。

長期的な視野に立った事業活動を保証

1996年、マニュファクチュールパテックフィリップはすべての事業活動をプラン・レ・ワットに集中したが、以後その拡大はとどまることがなかった。2003年には外装製造部門をプラン・レ・ワットに隣接するペルリーに移転し、2009年にはプラン・レ・ワット・サイトを拡張し、既存の建物を改築して構成部品の製造活動をここに移した。

総床面積約11万平方メートル、地上6階、地下4階の新社屋は、その半分を製造ラインが占める。2018年の完成時には、再び単一のサイトにすべての事業活動を集中することができることになる。さらにパテックフィリップのジュネーブにおける今後20～30年間にわたる事業活動を見据えた予備スペースも用意される。

先端技術を駆使した新しい製造拠点

新社屋は、建物全体と製造技術設備の両面にわたり、州省エネルギー法に準拠した高度なエネルギー効率規準(H.P.E.)をクリアしている。その結果、総合的なエネルギー効率は、さわめて厳格なスイスの省エネルギー建築規格Minergie Pに相当するものとなっている。

2014年12月10日に建設許可申請書類が提出され、2015年春に整地工事が開始された。予定建設工事期間は4年間である。

工費は全額、パテックフィリップの自己資本によりまかなわれる。建築設計はフリスク・マリニャック・ピドゥー設計事務所(ジュネーブ)、施工管理はフライ&ステファニ設計事務所(トネ)により行われる。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

大塚和泉

電 話：03-5209-8018 (直通)

F A X：03-3256-7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

《パテック フィリップ ホームページ》

<http://www.patek.com>





〈報道資料〉 ページ 3

データ・シート

総床面積	約110,000 m ²
業務用床面積	約50,000 m ²
	地上6層（最上層にレストラン）
	地下4層（機械設備2層、駐車場2層）
総工費	5億スイスフラン（建設費用4億5,000万スイスフラン、製造技術設備5,000万スイスフラン）
施工主	パテック フィリップ SA
建築設計	フリスク・マリニャック・ピドゥー設計事務所（ジュネーブ）
施工管理	フライ&ステファニ設計事務所（トネ）
建設許可申請	2014年12月10日
整地工事開始	2015年春
定礎式	2015年10月15日
工事完了予定	2018年

